

「平成 31 年 東白川村成人式」 村長祝辞

輝かしい平成 31 年の新春に人生の大切な節目である成人式を迎えられた 26 名の皆さん、「成人」誠におめでとうございます。今日まで皆さんを深い愛情で見守り育てて来られましたご両親様をはじめご家族の皆様にも心からお慶びを申し上げます。

また、年始ご多用の中、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、そして新成人がお世話になった恩師の先生方、村の次代を担う新成人のお祝いの日^に華を添えていただきましたこと厚くお礼申し上げます。

また、本日の式典の後に開催します記念会食会を企画運営していただきます東白川村商工会青年部の皆さんにも深く感謝申し上げます。

さて新成人のみなさん、本日の成人式は、いくつかの大きな意味を持つ記念すべき日です。

まずは、20 年間の成長を互いに喜び、これまで育てていただいたご両親やご家族に感謝する日であります。

次に、本日から皆さんは社会の中で一人前の『大人』として扱われる節目の日であります。晴れて「成人」となった皆さんは一人ひとりの権利とそれと同等の重さの義務を持って生きていかなければなりません。その出発の日であり、そのことを自覚し決意する日であります。

日本が初めて経験する超人口減少時代に成人となられた皆さんには、これからの人生、幾多の喜び、多くの困難が待ち受けています。

それをどう生きるか全て自己責任です。常に自信を持って自らの夢の実現に向けて挑戦していく気持ちを忘れないで下さい。

言わば荒海に船を漕ぎ出そうとしている皆さんに人生の先輩として、ノーベル物理学賞受賞者の江崎玲於奈^{はなむけ}氏の言葉を「餞」として贈ります。

自分が主役の人生のドラマを演じるために重要なことを「江崎の黄金律」としている。

それは、

「いままでの行きがかりにとらわれない」

「教えはいくら受けてもいいが、大先生にのめりこまない」

「無用なガラクタ情報に惑わされない」

「創造力を発揮して自分の主張を貫くには闘うことを避けてはならない」

「子供のような飽くなき好奇心と初々しい感性を失ってはならない」

いかにも物理学者らしい言葉ですが、私は最後の「子供のような飽くなき好奇心と初々しい感性を失ってはならない」という一節が一番皆さんに贈りたい言葉です。

私たち東白川村民は、皆さんが育ったこの故郷の自然と文化・伝統をしっかりと守り、次代に引き継いで行きます。東白川村がいつまでも皆さんの心に故郷として残り続けることを願って止みません。

結びに、新成人の皆さんの前途に幸多からんことを祈念し祝辞といたします。

平成 31 年 1 月 13 日

東白川村長 今井俊郎